

暑中お見舞い申し上げます。『みそら野だより』とともに、白馬、小谷の情報誌『ラプラーズ』夏の特別号をお届けいたします。夏のご利用に役立てていただくもよし、なかなか白馬に足を運べない方々にとっては遠き白馬に思いを馳せていただくもよし、との思いです。

白馬から涼風をお届けしたいのですが、7月初旬現在、白馬も酷暑となっています。どのくらい暑いかというと昼間は30℃を超え、夜も珍しく少々寝苦しいかなといった状況。しかし、職員の誰の家にもクーラーはありませんし、遠来の友曰く「開け放した窓から入る夜風は十分に涼しいんですけどー」。と、言うことは、酷暑といえども十分に避暑地の要件は満たしています。どうぞ皆様！暑さに疲れた体を休めにいらしてください。(7/12 現在/酷暑は去って梅雨空戻りあー涼しい)

ここ数週間、白馬、小谷ともに、『蛍』が飛び交っています。白馬ではオリンピッククロスカントリー競技場(スノーハープ)入り口付近がスポットです。職員の吉永は、あまりの美しさに数度足を運んだとか。地元内山地区の若者が蛍復活へと立ち上がり、かつてのような群生に向かいつつあると聞いています。



★管理事務所では、現在、各ご別荘の庭の草刈作業に入っています。又、近日中に、別荘地内の道路脇の草刈作業にも入ります。自然保護、景観形成、これらが論議を呼び始めて久しく、草刈作業の度に自然保護の観点からのクレームが入ります。特に住民としてお住まいの方の中に自然保護論を元に草刈の中止を求められる方が若干おられます。

管理事務所としての考え方&景観形成についての私見をお話します。

管理事務所 道路際の草刈は、①見通しの良さを確保し事故を防ぐ目的とする。
②別荘地としての環境整備、景観への配慮を目的とする。

私見 個別敷地の草刈は、①所有者の庭の草刈の代行として行う。
ありのままの自然は、人々の心に感動や癒しを与えてくれます。白馬は、とりわけ日本でも有数のダイナミックな山並みを背景に山岳リゾートとして多くの方の心を惹きつけています。より自然のままであればそれにこしたことはありません。アルプスに限らず、人々が屋久島や白神山地などの原生林に心惹かれるのは、人の手の入っていない太古から続く自然に魅了されるからでしょう。

しかしながら、一点、『里山』の美しさとは――。きれいに草刈された田の畦や地道、思い思いに花を咲かせ整えられた民家の点在、これらが『里山』の穏やかな風景を支えています。地元郷土史家の田中欣一氏とともに塩の道を歩く機会がありますが、田中氏も「小谷、白馬の美しさの半分は、よく手入れされた里山の風情にある」と語られています。

みそら野別荘地も形態に違いはあるものの『里山』の一部でありますので、ある程度の整備があつてこそ保たれる景観だと思えます。

別荘の管理 管理事務所による草刈を行っていないご別荘は、ご滞在の際に、草刈や庭のお手入れをお願いします。

ご注意を！

すでに3年目となりますが、今夏もまたっ！東京方面の測量会社(何故か社名は毎回違う!)から、測量に関するハガキが皆様のお手元に届きはじめています。まことしやかに、御地の境界に問題があるような印象を与える文面ですが、これは、ダイレクトメールです。貴方様宛ではなく、隣も向かいも、軽井沢も那須も、あっちにもこっちにも同じ文面が出されているDMです。要するに数打った中から〇〇されてコンタクトを取ってくる善良な人を待ちに待っているのですから、くれぐれも連絡をお取りになりませんように。測量承諾をさせていただきますと、民法上の契約が成立、測量費支払い義務が生じます。

不動産動向

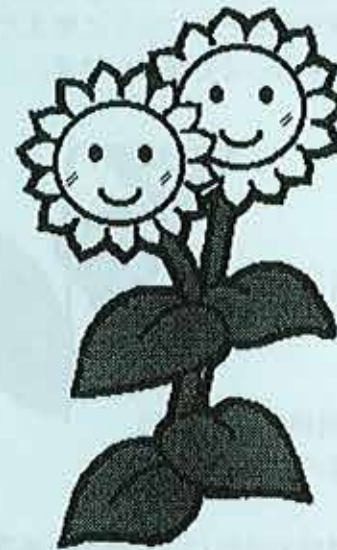
今回は、記事を差し控えさせていただきます。不動産担当者として、かなり落ち込んでいます。ついにTV(試験的に長野県内放送)にて、みそら野別荘地売り土地情報のスポット的の広告も行います。

景気回復が言われ始めているらしい?(白馬ではまったく実感できません。)東京や名古屋で着ぐるみ着てのぼりもって踊ってくるしかないかなーと、深い溜息をついています。

現在ご別荘をお持ちの方や今後建築のご予定の有る方にとっては隣地購入の好機です。隣地にご興味のある方は、ぜひお問い合わせ下さい。

価格、決済条件ともに弾力的に対応中。

事故、事件にもご注意を！



①白馬、小谷では、年々交通事故が増えています。元来登り下りやカーブが多い上に、道路が整備されスピードが出やすくなってきている事が原因です。

注 白馬地籍――佐野坂/オリンピック道路/
国道148号信濃森上北から立の間へのカーブしながらの下り/
小谷地籍――南小谷駅北の雨中地区(家屋密集地)/ローソンのある下里瀬の直線/
小谷温泉方面との交差点/

意 所 ここは、トンネルの切れ間に交差点があり、トンネル内に予告信号まであるのですが、トンネルの切れ間の明るさに目が行くためか?信号を見落としやすいのかもしれない。

②車上荒しが横行しています。各観光地の駐車場(白馬ジャンプ台や猿倉など)での被害が多いようですが、私は以前、白屋、白馬ジャスコの駐車場でたった5分の間に車の窓を叩き割られ、書類バックを取られてしまいました。思い出だけで悔しいぞお、お気をつけください。また、白馬ではこのところ、事務所、店舗荒しが続いて発生しています。

☆☆話題☆☆

皆様にお届けしている情報誌『ラブラース』は夏、冬2回の特別号です。それ以外に毎週定期号が発行されています。以前から、特別号・定期号は問わないので、別荘ライフ特集(みそら野限定)を組んで欲しいとお願いしてあったところ、この春にその企画が実現しました。

別荘ライフを謳歌されている方々の中から、数名の方を選ばせていただき最終的に4件のご別荘の取材記事が掲載されました。取材にご協力いただきました方々にはこの場を借りて御礼申し上げます。

定期号の読者は、ほとんど小谷、白馬の住民ですが、記事を読んだ地元の友人から「別荘って遠い存在で別世界的イメージがあったけど、思いっきりここいらを満喫していて楽しそう。生活していると見えない地元の良さをかえて知っているかもね。機会あったら話してみたいな。」という感想が寄せられ、意図していた部分を憑く反応にほっとしました。だって、みなさんほんとに有意義に別荘ライフをすごしていらっしゃるものです。

みそら野では、定住者が年々増え、シーズンオフともなれば、別荘地でありながら主客転倒模様です。定住の方に、まずはみそら野が別荘地であることを認識していただく事によって相互理解が深められ、立場の違うもの同士間の理解や思いやりが生み出されればよいと思います。又、別荘の方のみそら野での楽しい過ごし方を発信する事で、みそら野別荘地や別荘ライフに興味をもってくださる方もいるかとー。

それぞれのご別荘が、それぞれの歴史を持ち、又それぞれの楽しみや憩いを生み出す場となっている事を私どもも改めて知る事ができました。みそら野だよりの中でも、何か皆様相互の交流(何も交流会といったイベントという意味ではなく、気持ちの上での親近感や交流や参考という意味ですがー)を生み出すきっかけ作りのような企画(記事)ができるといいな?と考えています。ご協力をお願いすることもあろうかと思えます。その節は、よろしくお願ひします。

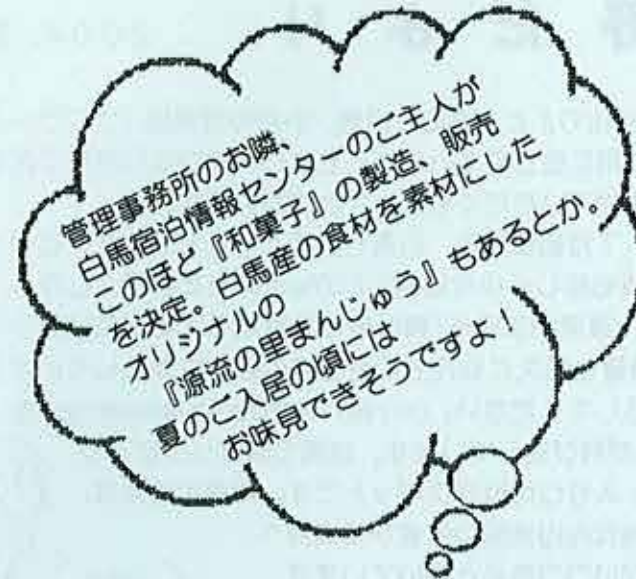
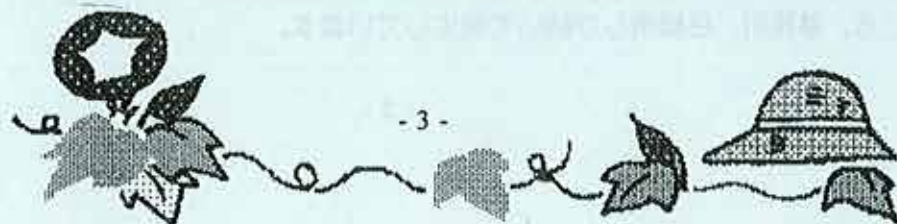
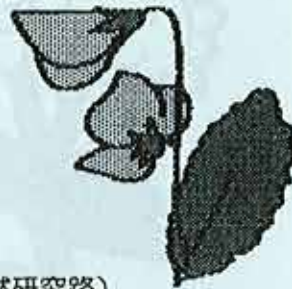
☆☆ご案内☆☆

この夏、白馬の夏、花のフェスティバル白馬Alps花三昧2004
はいかがでしょうか?

<期間> 7/1-8/31

<場所> 白馬五竜(五竜アルプス山野草園) / 八方尾根(八方尾根自然研究路)
姫川源流自然探勝園 / おらほの木流川 / 休耕田の花壇 / ほか多くの箇所

- ♪ 期間中には様々なイベント開催されます
- ♪ 花三昧中心会場間の連絡バス1日10便運行
- ♪ 白馬山麓シャトルバスの運行も昨年同様
- ♪ 期間中お得な割引チケット発売
(ゴンドラの組み合わせチケットなど)
- ♪ 白馬マイスターによる案内もあります



管理事務所のお隣、
白馬宿泊情報センターのご主人が
このほど『和菓子』の製造、販売
を決定。白馬産の食材を素材にした
オリジナルの
『源流の里まんじゅう』もあるとか。
夏のご入居の頃には
お味見できそうですよ!

ご別荘の方へ

土地をお持ちの方へ

管理事務所では、雪融け後に各土地の境界確認を行い、日常的には不法投棄、隣地からの工作物や資材等の進入、越境伐採や稀少植物抜き取りなどの監視のほか、風雪により隣地へ被害を及ぼす場合の木や枝の伐採処理、等等を行っています。又、売却取り扱い物件となった場合は、境界線上の下草刈りを行っています。ご依頼があれば、ご所有地内の下草刈りや枝払いをお受けいたします。

(但しこれらについては要実費となります)

☆☆市町村合併☆☆

皆様はご存知であったかどうかー。現在、国が進めている市町村合併の流れは、長野県内全域そして白馬小谷をも巻き込んでいます。数年前からの紆余曲折の末、白馬村と小谷村の2村で任意合併協議会が立ち上げられ、限りなく2村合併かと見られていました。

しかし、6月に行われた住民アンケートの結果を受けて、小谷村が、任意合併協議会から離脱を決定しました。最初に合併ありき(それも対等という建前、編入という本音が子供にさえ見えしてしまう形であったことは否めない)という合併問題の進み方に小谷村では、次第に疑問、反発が高まり、潜在的に抱えていた地形的問題や過疎の促進不安などが相俟って、反対60%という数字になったのだと思います。白馬村民の関心は小谷村に比べ低かったといえましょう。小谷村民である私の意見は長くなるので書きませんが、かつて4村であった村が昭和33年に1村になり、その後、中学が統合、保育園が便宜的1園状態、小学校も再来年に1校へ統合、その間の過疎化の偏りなどを身近な問題として考えるうちに、市町村合併が、効率化優先に進められている現状に対し、地方のーその又末端の人々の声が聞き取れない政治とは何ぞやーとの思いがあります。この2村合併の流れの前には、北安曇郡という広域を念頭においた、(仮称北安曇市、北アルプス市等)構想もあったことを思うと、今は合併という嵐の去った後の静けさとも言いましょうか。近隣では、大町市、八坂村、美麻村が、合併し新生『大町市』としてスタートすることが決まっています。又、島崎藤村の『夜明け前』の舞台である山口村が、長野県から離れ岐阜県中津川市との合併を決めています。

夏もいよいよ本番を迎えますが、夏バテなど なさいませぬようお元気でお過ごしください。